

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

(00532)

事務事業名称	生涯スポーツ振興事業				款	03	項	06	目	01	事業	001	整理番号	107	
現担当課名	スポーツ振興課		係名	事業係		連絡先電話番号	1674		昨年度整理番号	108					
上位施策No・施策名	29 誰もがスポーツに親しむことができる環境づくり								予算事業区分	既定事業					
事業開始	昭和37年度	実行計画事業	目標	08	施策	29	計画事業	01							
令和 4年度担当課名	スポーツ振興課								事業評価区分	一般					

令和 4年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	スポーツをする機会の少ない人及びスポーツ団体・競技者	根拠法令等 (1) 社会教育法第2、3、5条、スポーツ基本法第22条、32条 (2) 杉並区スポーツ推進委員に関する規則、杉並区スポーツ栄誉顕彰要綱
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	生涯スポーツ振興事業を通して、スポーツ実施者の拡大を図るとともに、事業の運営等への参画・協働の仕組みを充実させ、様々な立場でスポーツに関わる人を増やすことで、人と人とのつながりを広げ、スポーツによる地域づくりを目指す。	活動指標 指標名 (1) 各種生涯スポーツ事業回数 指標説明 共催件数 指標名 (2)
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	第31期 (令和4~5年度) スポーツ推進委員と、地域拠点活動や、綱引き大会などのレクリエーションスポーツの普及啓発を行う。 重度心身障害者スポーツ教室 (わいわいスポーツ教室) をボランティア等と年6回開催する。 交流自治体中学生野球大会を開催する。	成果指標 指標名 (1) 各種事業参加者数・スポーツ栄誉章被顕彰者数 指標説明 生涯スポーツ振興事業の延べ参加者数【行政】 指標名 (2) 各種事業ボランティア等人数 指標説明 生涯スポーツ振興事業8事業の実行委員・ボランティアの延べ人数【行政】

指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度	令和 4年度	令和 4年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1 回	3	27	11	27	19	21	70.4	75.9
活動指標 (2)	2 件	23	35	29	35	33	35	94.3	
成果指標 (1)	3 人	1,076	2,595	2,151	2,675	1,750	2,156	65.4	
成果指標 (2)	4 人	159	310	246	330	308	246	93.3	
事業費	5 千円	16,950	31,659	18,323	29,458	22,368	32,572	特記事項	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	47,532	53,314	54,563	51,977	68,790	58,226	新型コロナウイルス感染症の影響による事業の変更や中止により、令和4年度予算執行率が低くなりました。
	上記以外の職員	7 千円	3,628	0	0	0	0	0	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	68,110	84,973	72,886	81,435	91,158	90,798		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	951	0	1,102	5,878	5,553	5,900	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	951	0	1,102	5,878	5,553	5,900	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	67,159	84,973	71,784	75,557	85,605	84,898	

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

令和 4年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 107

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	交流自治体中学生親善野球大会の開催		148	人
	中学校対抗駅伝の開催	404	人	7,427
	スポーツ推進委員	20	人	2,728
	体育団体活動の奨励	20	件	1,411
	その他 (わいわいスポーツ教室、スポーツ栄誉章等)			2,314

取組成果

交流自治体中学生親善野球大会は、3年ぶりに台湾・南相馬市の中学生が杉並区に集まり、野球を通じて交流しました。中学校対抗駅伝大会は、区内中学校と南相馬市チーム、男女合計404人が参加しました。重度心身障害者スポーツ教室「わいわいスポーツ教室」は、新型コロナウイルス感染症対策を継続しながら全6回開催し、延59人が参加しました。スポーツ栄誉顕彰は、栄誉章 (18組141人) と特別栄誉章 (4人) を授与しました。体育団体事業の共催33件、後援93件を行い、団体活動を支援しました。

令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	<p>成果指標 (1) の「各種事業参加者数・スポーツ栄誉章被顕彰者」は、目標値2,675人に対して実績は1,750人でした。成果指標 (2) の「各種事業ボランティア等人数」は、目標値330人に対して実績は308人と、目標値を下回りました。この主な要因は、交流自治体中学生親善野球大会や、中学校対抗駅伝大会は、当初の規模で実施しましたが、他の事業の中には、新型コロナウイルス感染症対策のため、参加者の募集人数を抑えたものがあることや、スポーツ推進委員の地域拠点活動の回数が感染拡大前の状態まで戻っていないことによるものです。</p>
課題・分析 (2 / 2)	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>交流自治体中学生親善野球大会は、12月に台湾で開催される大会に参加し、杉並区の中学生30名が南相馬市の中学生と共に参加します。中学校対抗駅伝大会は、12月に開催し、男女とも約25チームが参加します。重度心身障害者スポーツ教室「わいわいスポーツ教室」は、新型コロナウイルス感染症対策の一部を継続して安全性に留意しながら年6回開催します。共催・後援による体育団体事業は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止されることなく、計画された全ての事業が開催されます。</p>
事業の方向性・改善策	<p>コロナ禍により、子どもたちのスポーツ実践に制約を与えたことから、今後実施する中学生親善野球大会や、中学校対抗駅伝大会等の中学生を対象とした事業は、存分にスポーツを楽しむとともに、子どもたち同士の交流や学びの機会となるよう、取組を進めます。また、重度心身障害者スポーツ教室「わいわいスポーツ教室」は、コロナ禍において参加者同士の接触を減らしていたプログラムを、徐々に元に戻すほか、新たにロゴフォームを活用した申込方法を導入し、コロナ禍で減少した参加者数が増えるよう取組みます。</p>

令和 6年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善)
予算の方向性の理由・内容	<p>交流自治体中学生親善野球大会や、中学校対抗駅伝大会などの生涯スポーツ振興事業は、令和5年度と同規模で令和6年度も実施予定です。交流自治体中学生親善野球大会は、令和6年度は杉並区において、複数の交流自治体等の中学生を招いて開催予定であり、大会会場の設営や交流プログラムに関する経費等があるため、予算額に大きな変更はありません。</p>	

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

(00533)

事務事業名称	公益財団法人杉並区スポーツ振興財団への助成				款	03	項	06	目	01	事業	002	整理番号	108	
現担当課名	スポーツ振興課		係名	施設管理係		連絡先電話番号	1672		昨年度整理番号	109					
上位施策No・施策名	29 誰もがスポーツに親しむことができる環境づくり								予算事業区分	既定事業					
事業開始	平成 5年度	実行計画事業	目標	08	施策	29	計画事業	01							
令和 4年度担当課名	スポーツ振興課								事業評価区分	一般					

令和 4年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	公益財団法人杉並区スポーツ振興財団	根拠法令等	(1) 社会教育法第3、5条 (2) スポーツ基本法第34条
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	公益財団法人杉並区スポーツ振興財団が、その設立目的であるスポーツ振興に関する事業を活発に行うことができるよう、補助金を支出し、財団の安定的な運営に役立てる。	活動指標	教室参加者数
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	公益財団法人杉並区スポーツ振興財団が行う「各種スポーツ教室・講座及び各種大会の運営に関する事業」、「スポーツ関係団体の育成・支援及び指導者の養成事業」、「スポーツ振興のための普及啓発事業」等に必要経費を助成する。	指標名 (1)	事業開催数
		指標名 (2)	
		成果指標	運動・スポーツをしていない人の割合
		指標名 (1)	区民意向調査による 【区民】
		指標名 (2)	利用者満足度
		指標説明	利用者満足度調査 【区民】

指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度	令和 4年度	令和 4年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1 人	27,275	80,000	43,160	38,000	22,657	29,518	59.6	87.3
活動指標 (2)	2 種目	280	330	359	31	29	31	93.5	
成果指標 (1)	3 %	16.8	15	19.0	15	19.7	15	131.3	
成果指標 (2)	4 %	83.8	85	84.8	85	88.0	85	103.5	
事業費	5 千円	73,545	96,935	89,966	118,402	103,306	114,695	特記事項	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	5,357	4,252	5,840	3,337	4,159	4,159	新型コロナウイルス感染症の影響による事業規模の縮小や中止により、執行率が低い結果になりました。 令和3年度末で指定管理業務終了し、これに伴い令和4年からの活動指標名を教室事業開催数から事業開催数へ変更しました。
	上記以外の職員	7 千円	0	0	0	0	0	0	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	78,902	101,187	95,806	121,739	107,465	118,854		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	0	0	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	0	0	0	0	0	0	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	78,902	101,187	95,806	121,739	107,465	118,854	

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

令和 4年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 108

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	運営等補助		1	団体
	その他 ()			
取組成果	<p>財団では、令和4年度は令和3年度に引き続きコロナ禍の中でありましたが、新型コロナウイルス感染症予防策を講じながらスポーツ教室事業 (29事業、延べ22,657名参加) を実施しました。</p> <p>区から移管された事業「スポーツ始めキャンペーン事業」と「スポーツコンシェルジュ事業」は、合わせて854名の参加がありました。スポーツコンシェルジュは従来から行っているスポーツフェスティバルへの配置に加え、他のイベントへの配置も行うなど工夫しています。</p>			

令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	<p>令和3年度末に指定管理業務を終了したため、教室事業数の規模が縮小しています。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症予防策を講じながらスポーツ教室などを実施しましたが、中止や規模の縮小をしながらの実施となったため、目標値より低い教室事業数と参加者数となっています。</p>
課題・分析 (2 / 2)	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、移行前に実施していた制限を原則解除してスポーツ教室などを実施しています。また、都立高等学校の学校開放事業について、地域に密着した講座を実施しています。</p> <p>ユニバーサルタイム (参加者が障害の種類や程度、好みなどに応じて種目や内容を選択することができ、適切な指導を受けながらスポーツ・運動を気軽に楽しめるプログラム) については、区と連携しながら、実施しています。</p>
事業の方向性・改善策	<p>令和4年度に区から財団へ移管した「スポーツ始めキャンペーン事業」は、10月～翌1月に実施し、参加者アンケートをとって実態の分析を行うなど、事業の改善に向けての取組を行っています。今後、事業分析をさらに進め、令和6年度以降の事業改善につなげていきます。</p>

令和 6年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	拡充
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善)
予算の方向性の理由・内容	<p>令和6年度以降も拡大を予定している区のユニバーサルタイムへの関与、今後予定しているわいわいスポーツ教室の区からの移管など、財団に求められる役割はさらに拡大していく見込みです。</p> <p>今後、スポーツ振興財団のあり方についても検討を進めていきます。</p>	

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

(00534)

事務事業名称	スポーツ推進計画					款	03	項	06	目	01	事業	003	整理番号	109	
現担当課名	スポーツ振興課			係名	施設管理係			連絡先電話番号	1676		昨年度整理番号	110				
上位施策No・施策名	29 誰もがスポーツに親しむことができる環境づくり								予算事業区分	既定事業						
事業開始	平成24年度	実行計画事業	目標	08	施策	29	計画事業	01	02	主要事業（区政経営報告書掲載事業）						
令和 4年度担当課名	スポーツ振興課					事業評価区分	一般									

令和 4年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	区民 スポーツ関係団体	根拠法令等 (1) (2)	スポーツ基本法第9条
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	スポーツ・運動が、区民により身近になることで健康維持に役立ち、さらに地域のつながり・交流に結び付くよう、スポーツ推進計画「健康スポーツライフ杉並プラン」を推進する。	活動指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2)	スポーツアカデミー参加者数 ユニバーサルタイム開催回数
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	スポーツ分野の人材育成プログラム「すぎなみスポーツアカデミー」では、従来の5講座のほか、修了者に実践の場を紹介する取組を推進する。障害者スポーツの推進に向けた取組を行う。総合型地域スポーツクラブの設立・運営支援を行う。	指標説明 成果指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2) 指標説明	成人の週1回以上のスポーツ・運動実施率 区民意向調査による 【区民】 ユニバーサルタイム参加人数 参加人数 【行政】

指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度	令和 4年度	令和 4年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1 人	437	300	517	300	291	300	97.0	80.2
活動指標 (2)	2 回	0	0	0	2	2	14	100.0	
成果指標 (1)	3 %	60.6	50.0	54.8	62.0	56.4	62.0	91.0	
成果指標 (2)	4 人	0	0	0	60	139	900	231.7	
事業費	5 千円	3,231	8,735	7,796	11,538	9,251	12,756	特記事項	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	9,353	11,054	15,017	21,525	9,150	9,150	令和4年度からスポーツ始めキャンペーンは、(公財)杉並区スポーツ振興財団に移管に伴い、活動指標「スポーツ始めキャンペーン参加延人数をユニバーサルタイム開催回数へ変更し、あわせて、成果指標に、ユニバーサルタイム参加人数を追加。チャレンジアスリートが本事業での取組となりました。
	上記以外の職員	7 千円	0	0	0	0	0	0	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	12,584	19,789	22,813	33,063	18,401	21,906		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	0	0	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	0	0	0	0	0	0	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	12,584	19,789	22,813	33,063	18,401	21,906	

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

令和 4年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 109

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	すぎなみスポーツアカデミーの運営	5	講座	3,668
	チャレンジアスリートの開催	181	人	2,373
	障害者スポーツの推進	139	人	2,467
	健康スポーツライフ杉並プラン推進懇談会	1	回	121
	その他 (総合型地域スポーツクラブ研修ほか)			622
取組成果	<p>健康スポーツライフ杉並プラン推進懇談会を開催し、令和4年度に改定した同計画の実施内容の報告を実施し、今後の取組に活かせる多くの意見をいただきました。</p> <p>また、新たな取組として障害者スポーツの推進のために、関係団体からなる障害者スポーツネットワークを立ち上げ、荻窪体育館で2回ユニバーサルタイム () を実施し139人の参加がありました。</p> <p>ユニバーサルタイム：参加者が障害の種類や程度、好みなどに応じて種目や内容を選択することがき、適切な指導を受けながらスポーツ・運動を気軽に楽しめるプログラム</p>			

令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	<p>ユニバーサルタイムを試行的に2回荻窪体育館で実施しましたが、利用者が参加しやすい時間帯や曜日などは、アンケートをもとに設定する必要があります。また、サポーターの養成など継続して事業を実施できる取組が必要です。令和5年度には利用者の意見を踏まえ、新たに上井草スポーツセンターグラウンドでユニバーサルタイムを実施しますが、屋外での実施となるので熱中症対策などより工夫した運営が求められます。</p>
課題・分析 (2 / 2)	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>令和5年度のユニバーサルタイムは、荻窪体育館で10回、上井草スポーツセンターで4回の開催を予定していましたが、アリーナの床張替工事の影響で、荻窪体育館での開催は9回になる見込みです。事業の周知も進んでおり、リピーターの参加も多くなっています。</p>
事業の方向性・改善策	<p>令和6年度以降もユニバーサルタイムの実施回数等は拡大していく予定です。ユニバーサルタイムのプログラムについては、障害者スポーツネットワークの意見を聴きながら改善を図っていきます。また、開催曜日や時間帯については、現在の参加状況を検討し次年度へ生かしていきます。</p>

令和 6年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	拡充
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善)
予算の方向性の理由・内容	<p>令和6年度のユニバーサルタイムは、荻窪体育館で12回、上井草スポーツセンターで8回の開催と、拡充する予定です。</p>	

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

(00535)

事務事業名称	体育施設の維持管理			款	03	項	06	目	02	事業	001	整理番号	110
現担当課名	スポーツ振興課		係名	施設管理係			連絡先電話番号	1676		昨年度整理番号	112		
上位施策No・施策名	29 誰もがスポーツに親しむことができる環境づくり							予算事業区分	既定事業				
事業開始	昭和30年度	実行計画事業	目標	08	施策	29	計画事業	03	主要事業（区政経営報告書掲載事業）				
令和 4年度担当課名	スポーツ振興課						事業評価区分	施設維持管理					

令和 4年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	施設利用者（区民、団体等）	根拠法令等	(1)	スポーツ基本法第2条、12条
			(2)	杉並区体育施設等に関する条例
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	施設を常に良好な状態に保ち、すべての区民にスポーツ活動の場を提供する。	活動指標	指標名（ 1 ）	
			指標説明	
			指標名（ 2 ）	
			指標説明	
活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）	運動場12か所、体育館6か所、プール5か所の維持管理を行う。	成果指標	指標名（ 1 ）	
			指標説明	
			指標名（ 2 ）	
			指標説明	

指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度	令和 4年度対計画比(%)	令和 4年度予算執行率(%)
		実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画		
活動指標 (1)	1								96.9
活動指標 (2)	2								
成果指標 (1)	3								
成果指標 (2)	4								
事業費	5 千円	949,251	1,033,991	996,325	1,123,853	1,088,865	1,164,038	特記事項	
人件費	常勤職員分（再任用含）	6 千円	63,773	51,018	51,893	40,046	49,908	54,899	
	上記以外の職員	7 千円	0	3,628	3,675	3,675	0	0	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	1,013,024	1,088,637	1,051,893	1,167,574	1,138,773	1,218,937		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	33,332	33,665	31,570	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	0	0	0	33,332	33,665	31,570	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	1,013,024	1,088,637	1,051,893	1,134,242	1,105,108	1,187,367	

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

令和 4年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 110

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	管理運営 (指定管理者)	9	施設	626,424
	管理業務委託	5	施設	190,747
	下高井戸運動場防球ネット等改修工事			172,060
	上井草スポーツセンターの野球場D面天井ネット工事			5,632
	その他 (光熱水費、修繕、備品購入など)			94,002
取組成果	<p>期間満了により令和4年度から新たな指定管理者となった9施設について、円滑に施設運営を行うとともに、各施設においては、新型コロナウイルス感染症対策を実施し、安全・安心な施設運営に努めました。</p> <p>施設整備については、下高井戸運動場の防球ネット等改修工事や、上井草スポーツセンター野球場の天井ネット工事を実施しました。</p>			

令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	
課題・分析 (2 / 2)	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>令和5年度は、荻窪体育館のアリーナ床張替工事や、松ノ木運動場の防球ネット改良工事などを実施し、安全で快適なスポーツ施設の管理運営を行っていきます。</p> <p>令和4年度における光熱水費の高騰やコロナ禍による利用料金収入等の減少により大きな影響を受けた指定管理者に対する補てんを実施する予定です。</p>
事業の方向性・改善策	<p>今後予定している杉並第十小学校長寿命化改修工事の中で、杉十小温水プールについても改修を図ります。また、和田堀公園プールについても施設の老朽化が進んでいますが、区内唯一の50mプールであり、毎年大会で使用されていることから、必要な修繕を行いつつ、新たな50mプールの設置も視野に検討を進めます。</p>

令和 6年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	<p>令和5年度に引き続き、令和6年度も各施設、設備の老朽化に伴う改修の優先度・緊急度を踏まえ、年次修繕と合わせて、必要な経費を計上します。</p>	

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

(00847)

事務事業名称	下高井戸おおぞら公園スポーツコートの整備			款	03	項	06	目	03	事業	002	整理番号	111
現担当課名	スポーツ振興課		係名	施設管理係			連絡先電話番号	1672		昨年度整理番号			
上位施策No・施策名	29 誰もがスポーツに親しむことができる環境づくり							予算事業区分	投資事業				
事業開始	令和 4年度	実行計画事業	目標	08	施策	29	計画事業	03	主要事業（区政経営報告書掲載事業）				
令和 4年度担当課名	スポーツ振興課							事業評価区分	一般				

令和 4年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	施設利用者（区民、団体等）	根拠法令等 (1) (2)
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	下高井戸おおぞら公園の多目的スポーツコートの管理棟（パークステーションII）が完成し、利用が開始される。	活動指標 指標名（ 1 ） 指標説明 指標名（ 2 ）
事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）	令和7年度の開設に向け、多目的スポーツコートの利用者が使用する更衣室やシャワー室を備えた管理棟の設計を行う。	指標説明 成果指標 指標名（ 1 ） 指標説明 指標名（ 2 ） 指標説明

指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度	令和 4年度対計画比(%)	令和 4年度予算執行率(%)
		実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画		
活動指標 (1)	1								62.8
活動指標 (2)	2								
成果指標 (1)	3								
成果指標 (2)	4								
事業費	5 千円				6,533	4,100	10,000	特記事項 債務負担額：14,100千円（令和4～5年度）	
人件費	常勤職員分（再任用含）	6 千円			0	6,904	6,654		
	上記以外の職員	7 千円			0	0	0		
総事業費 (5+6+7)	8 千円				6,533	11,004	16,654		
財源	受益者負担分	9 千円			0	0	0		
	国・都からの補助金	10 千円			0	0	0		
	その他の補助金等	11 千円			0	0	0		
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円			0	0	0		
差引：一般財源 (8-12)	13 千円				6,533	11,004	16,654		

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

令和 4年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 111

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	管理棟 (パークステーションII) の設計		1	施設
	その他 ()			
取組成果	<p>管理棟 (パークステーションII) に必要な諸室の間取りを検討し、管理棟の設計案の作成に着手しました。また、管理棟や多目的スポーツコートを含む下高井戸おおぞら公園東側の整備概要の説明を令和4年12月にオープンハウス形式で実施し、地域への周知に努めました。</p>			

令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	<p>令和5年4月に策定した「杉並区地球温暖化対策実行計画」で公共施設の原則ZEB化を表明していることから、管理棟 (パークステーションII) についてもどの程度までのZEB化を図るか検討します。</p>
課題・分析 (2 / 2)	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>当初、管理棟 (パークステーションII) の設計期間は令和5年7月末までの予定でしたが、ZEB化を実施するための設計を追加することとし、設計期間が令和6年3月までになりました。</p>
事業の方向性・改善策	<p>管理棟 (パークステーションII) の基本設計を令和5年度中にまとめ、運営を委託するかなど具体的な運用方法を検討して行きます。 また、管理棟 (パークステーションII) のZEB化に伴う周知、PR方法なども合わせて関係課と連携しながら進めていきます。</p>

令和 6年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	拡充
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	<p>管理棟 (パークステーションII) について、令和6年3月までの設計期間終了後、令和6年度は建設工事費を計上する必要があります。</p>	